

協会からのご案内

- 1 協会だより
- 2 当協会発行・編集出版物
- 3 当協会の国際連携のご紹介

1 協会だより

1. お知らせ：2025年度証券アナリスト（CMA）第1次レベル講座について
2. トピックス：GIPSセミナー「グローバル投資パフォーマンス基準を巡る最新動向－OCIOへの適用－」の開催／日本監査役協会と意見交換会を開催／講演会の動画／講演要旨
3. 委員・会員の異動

1. お知らせ

▶2025年度証券アナリスト（CMA）第1次レベル講座について

2025年度証券アナリスト（CMA）第1次レベル講座の受講申込受付を、5月20日（火）から開始します。申込受付期限は2026年1月31日（土）ですが、十分な学習時間を確保するため、早めの受講申込をお勧めしています。

本講座の学習内容は、6つの学習分野（証券分析とポートフォリオ・マネジメント、財務分析、コーポレート・ファイナンス、市場と経済の分析、数量分析と確率・統計、職業倫理・行為基準）で構成されています。

本講座では、CMA資格に求められる知識やスキルを「学習ポイント」として明示した上で、講座テキストは数値例、例題や図解、章末の練習問題を充実させ、テキスト冊子の配布に加えてマイページ（インターネット）上でもPDF版を閲覧できるようにしています。また、マイページ上に学習支援ツール（eラーニング）も用意しています。

講座内容の詳細は、以下からご覧いただけます。

本講座の受講を、ぜひお知り合いの方にお勧めください。

CMA資格「講座を知る・申し込む」はこちらから ▶



2. トピックス

▶GIPSセミナー「グローバル投資パフォーマンス基準を巡る最新動向—OCIOへの適用—」を開催しました（3月6日）

GIPSセミナー「グローバル投資パフォーマンス基準を巡る最新動向—OCIOへの適用—」を開催しました。

栗原洋氏（ウロボロス・パフォーマンス・コンサルティング代表、当協会投資パフォーマンス基準委員会委員長、CFA協会GIPS Standards Technical Committee委員）を講師に迎え、「セッション1 OCIOポートフォリオに関するガイダンス・ステートメントの解説」では、年金運用などで日本でも注目されているOCIO（アウトソースド・チーフ・インベストメント・オフィサー）サービスについて、CFA協会が2024年12月に公表した「OCIOポートフォリオに関するガイダンス・ステートメント」に基づき、GIPS基準のOCIOへの適用について、GIPSコンボジット報告例も含めて、解説しました。

「セッション2 GIPS基準を巡る最新トピック」では、28th Annual GIPS® Standards Conference（2024年9月CFA協会主催）から、日本市場で参考となるトピックを紹介しました。



◆検定会員、個人賛助会員、一般会員、法人・法人賛助会員の役職員の方およびPB資格保有者は、下記のボタンから視聴できます。

「動画」はこちらから ▶



▶日本監査役協会と意見交換会を開催しました

当協会は、2025年2月26日（水）に、日本監査役協会（以下「監査役協会」という）と意見交換会を開催しました。本意見交換会は、監査役等の近時の実務に関する諸課題やその対応方法について、投資家への理解促進を図り、投資家に監査役等への期待を確認し、企業と投資家とのより良い対話のあり方を検討すべく、年1回程度開催しているものです。今回は、監査役協会の役員等6名と当協会のCMA等7名が出席し、次の四つのテーマについて意見交換を行いました。

1. 「監査役会等の実効性評価」の実施と開示の状況

当協会出席者は、監査役（会）に差止請求権等の強い権限が与えられているものの、実際に権限を行使した事例が見えず、また、企業不祥事後の調査報告書でも監査役等に関して言及している事例が非常に少ないと述べました。その上で、権限の行使事例が少ないならば、社外取締役の増員等のより良い機関設計を検討することや、監査役等の活動の開示ではストーリー性（監査役等が何をリスクと捉え、どのように行動したか等）をもった、より具体的な開示が必要ではないかと意見しました。

監査役協会出席者は、監査役会設置会社の意義を説明した上で、監査役等は権限行使の前段階で問題の芽を摘むことが重要な役割であり、そのプロセスの開示が課題であると述べました。また、投資家から監査役等の活動状況の開示を求める声を上げて欲しいと意見しました。

2. 監査役等の活動の開示事例

監査役協会出席者は、リスクマネジメント、コンプライアンス等の取り組みの評価には自社事業の十分な理解が必須であり、常勤監査役等はそれが可能な立場であること、監査役等は牽制機能に限らず企業価値向上に寄与することも意識して活動しており、この点は丁寧な説明により海外投資家にも理解が得られていることを説明しました。

当協会出席者は、社外取締役と監査役等の距離感が見えない点や、監査役等の取締役会での発言が開示されていない点について、改善の余地があると意見しました。また、欧米では一般的ではない監査役会等の機能を議決権行使の際にどのように評価するかには課題があると述べました。

監査役協会出席者は、監査役制度が誤解されている点もあり、発信強化が必要と述べました。

3. 四半期開示の見直し後の監査役等と経営陣・監査人の対話の状況

監査役協会出席者は、見直し後も監査人によるレビューは実態として変化がなく、監査役等として従来と同様、監査人の問題意識や課題に関しては情報が共有されていると説明しました。

当協会出席者は、株主総会での議決権行使に当たり、事業報告書では多くの項目（経営課題、政策保有株式、サステナビリティ、監査上の主要な検討事項（KAM）等）で情報が不足しているため、そうした情報が豊富な有価証券報告書の株主総会前開示が求められていると意見しました。

4. 監査役等と投資家とのエンゲージメント

監査役協会出席者は、現状、社外取締役や監査役等と投資家との対話の機会は少ないが、昨今の企業不祥事の事例では監査役等の機能不全が見られるケースもあることから、投資家が監査役等の機能について企業に問いかけることで、コーポレート・ガバナンスの実質的な向上につながるのではと述べました。

当協会出席者は、取締役との対話では監査役等との連携に特に問題はないという画一的な回答が多いと述べた上で、監査役等の活動をより具体的に開示することでエンゲージメント活性化の糸口になるのではと、また、投資家と常勤監査役等との対話の機会が増えれば投資家の理解の改善につながる

のではと意見しました。

監査役協会出席者は、投資家が監査役等の問題意識について質問するだけでも、企業のガバナンス状況を知る手がかりになると述べました。

▶講演会の動画を協会ウェブサイトに掲載しました

①「世界経済の展望2025」（3月31日開催）

講師：近田健氏（日本銀行 国際局長）

②「「トランプ2.0」下のグローバル金融市場」（4月3日開催）

講師：長井滋人氏（オックスフォード・エコノミクス 在日代表）

③＜産業研究会企画 コーポレートガバナンスシリーズ第3回＞

「取締役会の多様性と企業価値—多様性の多次元性とフォルトラインの視点から—」（4月16日開催）

講師：真辺幸喜氏（野村アセットマネジメント 資産運用先端技術研究部 クオンツアナリスト）

④＜産業研究会企画 環境・資源シリーズ第1回＞

「自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）の最近の動向」（4月17日開催）

講師：秀島弘高氏（農林中央金庫 エグゼクティブ・アドバイザー（国際規制担当）自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）メンバー）

◆検定会員、個人賛助会員、一般会員、法人・法人賛助会員の役職員の方およびPB資格保有者は、以下より視聴できます。非会員の方も有料で視聴できます。

「動画」はこちらから >



▶講演要旨を協会ウェブサイトに掲載しました

①＜産業研究会企画 コーポレートガバナンスシリーズ第2回＞

「コーポレートガバナンスとサステナビリティ開示 —国際監査・保証基準、国際倫理規程の動向を素材として」（3月5日開催）

講師：古澤知之氏（公益監視委員会（PIOB）メンバー）（本誌5月号掲載）

②「「トランプ2.0」下のグローバル金融市場」（4月3日開催）

講師：長井滋人氏（オックスフォード・エコノミクス 在日代表）

③＜産業研究会企画 コーポレートガバナンスシリーズ第3回＞

「取締役会の多様性と企業価値—多様性の多次元性とフォルトラインの視点から—」（4月16日開催）

講師：真辺幸喜氏（野村アセットマネジメント 資産運用先端技術研究部 クオンツアナリスト）

④＜産業研究会企画 環境・資源シリーズ第1回＞

「自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）の最近の動向」（4月17日開催）

講師：秀島弘高氏（農林中央金庫 エグゼクティブ・アドバイザー（国際規制担当）自然関連財務
情報開示タスクフォース（TNFD）メンバー）

◆検定会員、個人賛助会員、一般会員および法人・法人賛助会員の役職員の方は、下記ボタンから無料で閲覧・ダウンロードできます。非会員の方も有料で閲覧・ダウンロードできます。

「要旨」はこちらから▶



3. 委員・会員の異動（敬称略）

▶委員の異動

○第40回日本証券アナリスト大会実行委員会（4月1日）

退任	藤田 ゆり子	第一生命保険 CMA
〃	渡辺 勇仁	大和アセットマネジメント CMA
〃	大野 健太	明治安田生命保険 CMA・CIIA
就任	瀬之上 智基	第一生命保険 CMA
〃	根岸 慎太郎	大和アセットマネジメント CMA
〃	上田 洋一郎	明治安田生命保険

○規律委員会（4月7日）

退任	白川 至	みずほ証券 CMA
就任	若林 豊	みずほ証券

○PB教育委員会（3月31日）

退任	伊藤 幹	株式会社りそな銀行
----	------	-----------

○PB教育委員会（4月1日）

就任	徳田 淳史	株式会社りそな銀行
----	-------	-----------

▶会員の異動

○新入会者（2025年3月中）

該当なし

○退会・会員資格喪失（2025年3月中、五十音順、同姓同名の場合は会員番号も記載）

1. 定款第12条第1項第1号による退会・会員資格喪失

<会費完納者>

検定会員

赤尾 博
秋月 紗恵子
肥土 恵子
浅野 弘一郎
浅野 昌夫
安藤 享治
安東 直樹
五十嵐 直人
池内 陸可
池辺 直樹
石塚 健介
石元 秀和
泉 淳一
五十棲 洋史
伊藤 浩輔
伊藤 迅人
猪野 淳一郎
猪野 力弥
井上 和彦
今井 幸雄
今田 健治
岩佐 隆宏
岩崎 俊博
岩田 将貴
岩本 宏
上田 雅貴
上田 正信
上坊 史青
内山 淳
梅山 豊
運天 保馬
大池 政士
大江 善雄
大曾根 喜久雄
太田 幸男
大平 朋
大森 治朗
大森 浩人
岡田 千穂
岡林 宏明
岡村 正仁
小川 貴弘
荻原 悦男
奥定 恭弘
小野 美穂
垣内 洋椰
柿沼 敬二
笠原 大輔
柏岡 雅哉
片岡 勝己
片山 幸成
片山 大樹

川口 博
河内 宏文
川村 幸恵
木口 英樹
岸 恭彦
北岸 凌太郎
絹輪 好郎
紀平 昌之
木村 沙羅
木村 秀吾
木村 良介
木村 博之
清田 宏明
久下 真司
櫛部 哲男
久保出 健二
熊田 雅史
倉嶋 亮
黒崎 正敏
黒田 恒雄
小池 紀男
神坂 潔
高津 秀己
河野 圭一
河野 秀喜
小島 暁介
小庭 雄一
小林 稔雄
小林 功
小林 到
小林 航平
小松原 丈夫
小宮 秀治
近藤 哲生
後藤 由美
齊藤 博
坂井 圭輔
阪根 吉行
酒本 大輔
坂本 洋一
櫻井 拓也
佐々木 圭一
佐々木 洋
佐崎 隆範
佐竹 達雄
佐藤 かなえ
佐藤 司
佐藤 康久
志藤 康典
嶋田 京市
嶋津 正明
島見 大

相馬 千太郎
高木 ちとせ
高橋 俊雄
高濱 晃造
田口 源太郎
竹内 昌男
竹田 徹
田中 一彰
田中 敬士
田中 康博
谷口 一平
谷口 進
谷口 貴洋
築山 直樹
筒井 明
鶴田 健介
勅使河原 淳
寺田 充
出口 剛士
土岐 剛平
土居 直彦
中川 知裕
中川 智之
中前 久史
中村 篤史
中村 惠三
中山 康成
長井 秀和
長岡 憲司
永田 洋一
名倉 輝己
成田 英和
南都 昌弘
西川 哲夫
西塚 優子
西部 浩之
丹羽 将一
沼上 隆之
橋本 哲次
長谷川 潮
浜崎 憲司
林 毅俊
原 恵子
原 佑輔
馬場 邦彦
馬場 義博
菱木 由美子
兵庫 一範
平澤 萌衣
平田 賢市
福田 一弥
福田 高久

22239

星 祐輔
細江 昌史
堀江 勇介
堀越 憲一
本城 清志
前田 英樹
牧野 弘
牧原 知宏
真下 美津子
栢井 雅寛
松浦 浩一
松尾 秀樹
松崎 仁施
松嶋 康介
松永 圭史
松原 祐生
松本 修
三浦 洋揮
水尾 翔
水上 理史
水野 聖子
水端 陽一郎
宮下 達朗
宮田 知明
武藤 弘明
宗岡 徹
村上 芳博
村嶋 帰一
森定 奈保子
森山 達夫
森山 祐介
矢島 格
安田 健
谷内 康平
藪内 寿樹
山口 勝業
山口 典男
山口 泰博
山崎 祐貴
山下 正雄
山下 義成
山田 淳
山田 大介
山田 基文
山畑 美穂
吉岡 弘人
吉田 大作
吉田 弘忠
四元 浩二
元 克己
若山 茂雄
和合 孝

36825

協会からのご案内

勝田 節夫 加藤 栄己子 加藤 忍 金澤 尚一 可児 滋 金子 伸一郎 金子 聖也 金子 泰敏 樺島 浩史	島本 章生 白石 剛大 城田 貴世美 十菱 龍 陣内 竜太 杉本 誠忠 鈴木 伸雄 角南 秀幸	福山 葉子 藤井 邦幸 藤枝 昭伸 藤沢 吉泰 藤田 耕一 藤田 剛史 藤原 明彦 藤原 明	渡辺 慶 渡辺 宣明 渡辺 伸充 渡辺 登 渡邊 光 渡部 博人 和田 伸一 和田 佳宏
---	--	---	---

一般会員 磯野 義治 萩尾 博信

法人賛助会員 三菱 HC キャピタル株式会社
三菱商事株式会社

個人賛助会員 藤田 浩己

<上記以外>

検定会員 大塚 哲志 重松 航太郎	環 浩三	溝川 祥雄	和泉 将人
---------------------------	------	-------	-------

2. 定款第12条第1項第3号による退会・会員資格喪失

検定会員 内田 雅之 斎藤 一朗	高井良 博	平尾 敏也	吉岡 章
--------------------------	-------	-------	------

○会員状況（2025年3月31日現在）

個人会員（検定会員）（一般会員）	法人会員	賛助会員（法人賛助会員）（個人賛助会員）	合計
29,293 (29,235) (58)	193	135 (111) (24)	29,621